学校番号	1302

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）基礎理科	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・理科は、「生物」・「化学」・「物理」・「地学」の４分野から成り立っています。
基礎理科の授業では、これらの４分野の土台となる基礎的な科学知識（小学校や中学校で学習したことも含む）を、プリント形式で学びます。
・また理科は、人々の日常生活を支える非常に大切な学問です。自分が学んでいることが日常のどのような場面に利用されているか、常に意識しつつ意欲的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
小学校、中学校で学習した、基本的な理科の知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
日常の身近な現象や生物たちを科学的な見方から適切な形で表現できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
授業目標等でふれる、日常に関わる基礎的な科学知識や法則に興味・関心をもって授業に参加できるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・自然現象や科学技術を探求、考察する際に必要となる基本的な知識を身につけているか。 ・自然現象や科学技術を科学的に考察する際、正しい手順で観察や実験が行えるか。	・興味をもった自然現象や科学技術を科学的に探求、考察することができるか。 ・考察や実験に必要な知識を自身で検索できるか。	・日常生活において体験する自然現象や科学技術に興味を持ち、自ら進んで疑問を解決しようとするか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	植物の構造	・植物の生活や光合成	a:植物の構造や各部分の役割を理解する。 b:植物の生態系での役割について考察できる。 c:植物に興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	動物の構造	・動物の臓器のはたらきや食物連鎖のつながり	a:動物の構造や臓器のつながり、各器官の働きを理解する。 b:動物の生態系での役割や食物連鎖の関係性について考察できる。 c:動物に興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	ヒトのカラダの構造	・微生物のはたらきや日常への貢献	a:　人体の構造や臓器のつながり、各器官の働きを理解する。 b:自分自身のカラダの構造や性質を考察できる。 c:　人体の構造や機能に興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
2学期	天候と気候変動	・地球の天候や気候変動	a:地球の天候の仕組みやさまざまな気候変動を理解する。 b:日々変わる天候の観察や昨今の気候変動について考察する。 c:天候の変化と気候変動に興味をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	災害とその対処	・世界や日本で起こる災害とその対処	a:世界や日本で起こる災害の種類やそのメカニズムについて理解する。 b:　災害への対処法について考察できる。 c:災害への対処を自分事としてとらえ、意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察

	宇宙と太陽系の天体	・宇宙と太陽系の天体の誕生	a:宇宙や太陽系の惑星の構造と誕生の歴史を理解する。 b: 太陽や月など地球の周辺の天体について考察できる。 c:宇宙と太陽系の天体に興味・関心をもち意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
3学期	地球の歴史	・地球の歴史 ・生命の誕生	a: 地球の誕生と生命の誕生の歴史、進化の道筋について理解する。 b: 他の生物とヒトとの違いについて考察できる。 c: 生命の誕生や進化に興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	元素記号と身の回りの物質	・元素記号 ・身近にある金属の種類やその性質の違い	a:元素記号の種類や金属の種類とその性質について理解する。 b:それぞれの金属が日常にどのように関わっているか考察する。 c:金属の有用性を認識し、意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度